

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

電線を地中化して  
電柱を撤去します

地元の  
声

- ・駅前なのできれいなまち、道路にしてほしい。(地元住民)
- ・地震の際など電柱が倒れて、緊急車両の通行が出来なくなると困る。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 桐生市宮前町～末広町
- 事業内容: 電線共同溝整備 延長400m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現在の交通量: 4,145台/日(自動車)  
(令和3年度) 519人/12時間(歩行者)  
192台/12時間(自転車)

事業前

◆電柱があるため、歩行者の通行の支障となっています。



事業前の状況

事業後

◆道路上の電柱が無くなり、歩行者が通行する際に安全な通行空間が確保されます。



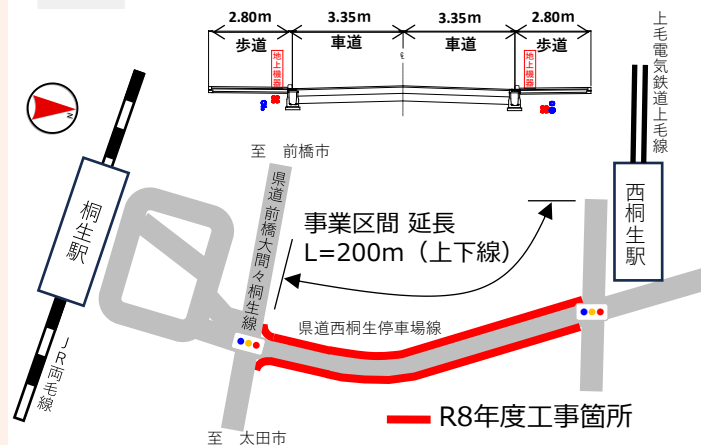
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
歩行空間を阻害する電柱	あり
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
なし
なし



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度までに電線共同溝本体工事が完了し  
令和8年度は、道路照明工事・側溝工事を行います。



特殊部敷設状況